

## 第 2 期中期目標期間 地方独立行政法人山梨県立病院機構 業務実績評価（概要）

機構が山梨県知事に提出した第 2 期中期目標期間に係る業務実績報告書に基づき、評価が行われた。その概要は次のとおりである。

## ＜ 全体評価 ＞

- ・総評として、第 2 期中期目標期間における業務の実績は優れていると評価する。

## ＜ 項目別評価（18項目） ＞

評 価		評価項目数		
		第 1 期	第 2 期	増減
特に優れている	S	4	6	2
優れている	A	7	9	2
順調である	B	7	3	△ 4
劣っている	C	0	0	0
著しく劣っており、大幅な改善が必要	D	0	0	0

## ○ 実施状況が特に優れていると評価された項目（評価 S）及び評価理由

## ①政策医療の提供

救命救急医療では、高度救命救急センターを中心とした臨機応変、柔軟な対応により県民の安心に繋がっている。

総合周産期母子医療では、少子化が進む中、M F I C U の延べ入院患者数等が大幅に増加した。

がん医療では、低侵襲手術支援ロボット（da Vinci Xi）の導入及び手術対象部位拡大、ゲノム解析件数・遺伝カウンセリング件数の大幅増など取組が前進した。

感染症医療では、適切な医療提供が行える体制を整えており、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れが支障なく行われた。

県立北病院では、県の精神科救急医療の 24 時間体制に中心的な役割を果たしており、救急受入件数が増加している。

## ②質の高い医療の提供

様々な分野の専門医を確保するとともに、若手育成に努めているほか、医師が業務に専念できるよう医師事務作業補助者を採用するなど体制も整えている。7 対 1 看護体制

の安定的な維持に向け、改善点への取組や有効策の継続に努力し、看護師の増加や離職率の低下、ひいてはより良い看護の提供に繋がっている。

また、高度医療機器の整備では、低侵襲手術支援ロボット（da Vinci Xi）等の整備を積極的に実施した。

#### ③医療に関する調査及び研究

新薬の治験に積極的に取り組みC型肝炎治療において高い実績を収めるなど、病院機構が最先端の医療にも対応できる高度な医療機関であることを広く認識させた。その他、各種調査研究における学会発表では表彰実績も残した。

#### ④地域医療機関との協力体制の強化

地域医療支援病院の指定を受け、さらにかかりつけ医検索システムの導入や地域連携業務に専任者を配置するなど、病病連携・病診連携の強化が進展し、紹介率・逆紹介率が大幅に向上した。

#### ⑤経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減

後発医薬品の使用割合の大幅な向上や汎用医療材料の共同購入など、経費削減に積極的に取り組んでいる。

また、未収金対策に取り組む、未収金の削減に繋げるとともに、病院の中心的収入である診療報酬請求部門の強化に努めた。

#### ⑥予算、収支計画、資金計画、短期借入金の限度額

中期計画を大きく上回る経常利益及び純利益を達成しており、公立病院として模範となるような財務内容である。